

令和5年度のがん検診の実施状況について

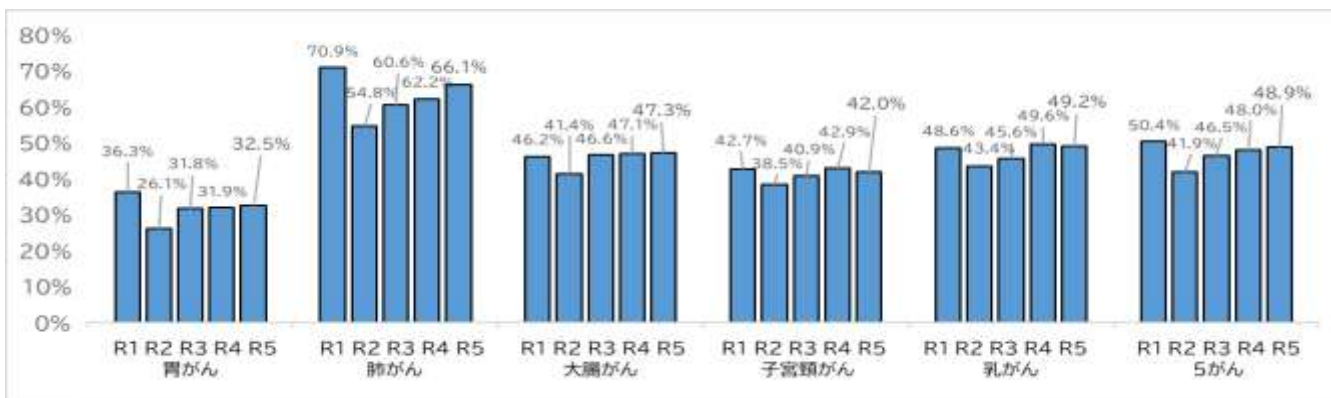
令和5年度の受診率(70歳未満)は、48.9%

令和5年度のがん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)の受診率(70歳未満)は、48.9%となり、対前年度比0.9ポイント上昇しました。がん種別の受診率は、胃がん32.5%、肺がん66.1%、大腸がん47.3%、子宮頸がん42.0%、乳がん49.2%となっています。

◆令和5年度がん検診受診者数と受診率

がん種	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	5がん
受診者数	64,232	199,087	142,617	92,533	74,270	572,739
受診率	32.5%	66.1%	47.3%	42.0%	49.2%	48.9%

◆がん検診受診率の推移



※この受診率は、県内の市町と職域を合わせた全数調査により、福井県が独自に算定。

※子宮頸がん、乳がんは市町・職域検診とも隔年受診が原則であるため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

※平成29年度より、胃がんの市町検診は、隔年受診が原則となったため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

今後は、

- ① 受診対象者に対し、市町による受診券や無料クーポン券の交付を促進
- ② 職域検診や個別検診の推進による受診機会の拡大
- ③ 県内検診機関および受診勧奨センターによる未受診者への再勧奨の強化
- ④ 地元メディアや SNS 等を活用した受診啓発活動

など、受診機会の拡大や受診しやすい環境づくりに努めていきます。

(参考)

○福井県の独自調査による受診率の算定について

国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき受診率を算定しています。

種類	対象年齢	受診間隔	県内対象者
肺がん	40～69歳	毎年	301,199人
大腸がん	40～69歳	毎年	301,199人
胃がん	50～69歳	2年に1回	197,525人
子宮頸がん	20～69歳	2年に1回	220,574人
乳がん	40～69歳	2年に1回	150,924人

対象者：令和2年国勢調査より算出